

SS 研 ICT フォーラム 2016

セキュリティ観点からのネットワーク管理と運用

- そのグローバル IP アドレス、誰が、何に使っているか分っていますか？

- 日時：2016年8月23日(火) 分科会 13:30~17:20 (受付 13:00~) / 懇親会 17:35~19:00
- 場所：富士通株式会社 本社 6階 プレゼンテーションルーム [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 開催趣旨

昨今の急激な IoT 化の進展に伴い、大学や研究所では実運用中の多くの機器がインターネットに直接接続されるケースが多々見受けられる。また、学内には依然として組織として管理されていない野良サーバー等の排除が十分に出来ず、セキュリティの脆弱性が存在するというのが実態である。

こういう状況の中、従来からファイアウォール運用でのログ監視を中心に対応してきたが、対処できないインシデントも増加傾向にある。技術面で IDS/IPS や Web 認証等々の組合せによるセキュリティ強化に取り組む一方で、組織人材やコスト制約面から十分な体制を組めないという悩みを持つ機関も多い。

大学での運用事例をベースに、参加者同士で、いま実行していること、これから実行すべき対策について情報交換する場を設定していく。本年度のシステム技術分科会第 1 回会合は、SS 研 ICT フォーラム 2016 と名称変更して、SS 研会員以外の方も参加いただけるオープン会合形式で実施する。

- プログラム：(予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい)

-敬称略-

13:00~	受付
13:30~13:40	開会あいさつ
13:40~14:30 講演 40分 Q&A 10分	<p>[1] 「つながった機器」と「インシデント」 鹿野 恵祐 (一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター)</p> <p>JPCERT/CC では、インシデントの予測と補足を目的とした情報収集・分析業務や、発生したインシデントへの対応調整支援等の業務を行っている。本講演においては、大学等の学術機関等へ情報提供した事例など、過去に発生したインシデント事例について解説しつつ、最近のネットワークのスキャン動向や、システムに対する脆弱性の動向等を JPCERT/CC のアナリストの目線から解説を行う。</p>
14:30~15:20 講演 40分 Q&A 10分	<p>[2] 京都大学のネットワークとその管理について 齊藤 康己 (京都大学)</p> <p>京都大学の学内ネットワーク KUINS は KUINS-II と KUINS-III に分けられる。前者はグローバルアドレスを必要とするサーバ等を収容するネットワーク。後者は、主に教職員の端末などを収容するプライベートネットワークである。今から 15 年も前、大学としてはかなり早い時期に京都大学ではこのネットワークの分離が行われ、現在まで運用されてきた。その経緯から説き起こし、現在のネットワーク運用の実際や管理に使われているツール、セキュリティ対策の実態などを説明する。また企業ネットワークと比較しつつ、このようなネットワークのメリットやデメリットをセキュリティの観点からお話する。</p>
15:20~15:35	休憩
15:35~16:25 講演 40分 Q&A 10分	<p>[3] 地方の中小規模大学である鳥取大学における セキュリティへの取り組みと課題について 大森 幹之 (鳥取大学)</p> <p>鳥取大学は国内で唯一いわゆる「すなば」を敷地内に有し、時に大容量データ通信を必要とする乾燥地研究センターを擁する大学である。同時に、いわゆる「陸の孤島」とも呼ばれ、常に国内 1, 2 を争う過疎地域である地方の小規模大学でもある。本講演では、地方の小規模大学での事例の 1 つとして、鳥取大学でのセキュリティへの取り組みにおいて人的、費用的、地理的に限られた資源に起因する困難さを紹介する。その一方で、地方と小規模であることを生かした純朴で丁寧な細やかな取り組みを紹介する。</p>

16:25~17:15 講演 40分 Q&A 10分	[4] Internet of "Insecure" Things との戦いに備えて 森川 郁也 (株式会社 富士通研究所) Internet of Things (IoT)は、IT 技術が人間を介さずに実世界を観測し制御することを可能にするパラダイムだが、それゆえに攻撃を受けると大きな損害が生じる可能性が高く、セキュリティ対策の遅れが懸念されている。本発表では、最近発表されたいくつかのガイドラインを概観し、IoT セキュリティの要点について議論する。またグリーン東大 ICT プロジェクト(GUTP)における我々の取り組みである ID ベース暗号応用技術を紹介する。
17:15~17:20	閉会あいさつ
17:20~17:35	休憩 (ニュースレター編集会議・講演者/企画委員)
17:35~19:00	懇親会 (会費 ¥500) お飲物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。会費は当日受付にて申し受けます。

■ アクセス

汐留シティセンターの1階ロビー富士通受付にお立ち寄りいただく必要はございません。低層階用エレベーターをご利用いただき、6階「User Community Salon」と記載されている扉からお入り下さい。会場受付にて Guest Card をお受取り下さい。

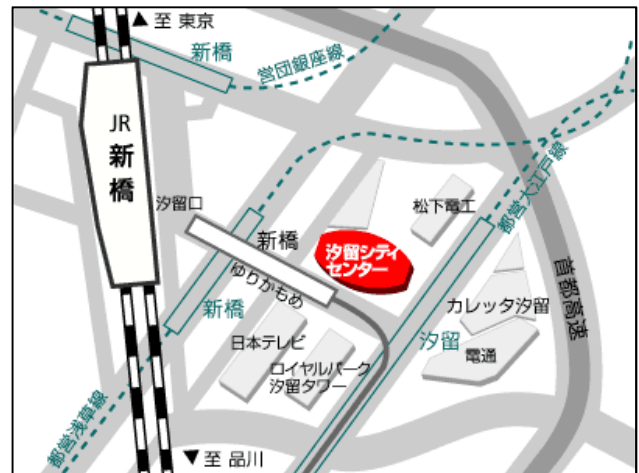
<http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/>

<<電車でのアクセス>>

- ・JR 新橋駅
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- ・東京メトロ 銀座線 新橋駅
出口4(地下1階)から徒歩3分
- ・都営地下鉄 浅草線 新橋駅
汐留方面出口(地下1階)から徒歩2分
- ・都営地下鉄 大江戸線 汐留駅
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下2階)から徒歩1分
- ・新交通ゆりかもめ 新橋駅
出口1Dから徒歩1分

<<羽田空港から新橋駅までのアクセス>>

- ・東京モノレールとJR山手線
羽田空港から浜松町経由新橋駅(所要時間約30分)
- ・京浜急行と都営浅草線(直通電車)
羽田空港から都営浅草線新橋駅(所要時間約30分)



■ ご参加について

- 参加対象 : オープン開催 (SS研会員機関以外の方でも、ご参加いただけます)
- 参加費 : 無料です。
ただし、懇親会については 会費¥500 を申し受けます。
懇親会は ICT ベンダ関係者の参加をお断りする場合があります。

■ 詳細・お申し込み

SS研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】 サイエнтиフィック・システム研究会 (SS研) 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通(株) カスタマーリレーション統括部内 (SS研)
TEL : 03-6252-2582(直通)
Email:office@sskn.gr.jp URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>